

# Vivid You & I

2004年10月  
Vol.15

「Vivid」はあざやかな、生き生きとした、活発な、はつらつとしたという意味の英語です。「You & I」は本市の女性行動計画にも用いたとおり、女性と男性のパートナーシップを意味する言葉です。「女性も男性もいきいきと生きることができる」という、男女共同参画社会の理念を明確に表わす言葉として、愛称に決めました。



主な内容

- ★ 「もしも……？」アンケート…………… 2～3
- ★ 生駒市女性センターからのインフォメーション…7～8
- ★ 2004いこま女と男 You&Iフェスタ… 4～6

# 生まれ変わるとしたら、男女どちらになりたいですか？

男 性		女 性	
男・・・もう一度やり直したい期間があるから	10代	女・・・今と違う自分を生きてみたい	
男・・・女の人の苦勞を知っているから		女・・・また自分になりたい	
女・・・男に追われるような女になりたい		男・・・男しかできないスポーツをやりたい	
男・・・今の自分が好きだから	20代	女・・・何かと得だと思っから	
男・・・出産は苦しそうだから		女・・・男は頑張らなくてはいけなから	
男・・・トイレに長蛇の列で我慢したくない		男・・・異なる性を経験したい	
女・・・異なる性を経験したい	30代	女・・・仕事を辞めたくなったら辞めやすい	
男・・・現在と同じ人生を生きたい		男・・・異なる性を経験したい	
男・・・未経験なのでなりたくない		女・・・子どもを生き育てたことをもう一度経験したい	
男・・・女性になることが想像できない	40代	男・・・バリバリ仕事をしてみたい	
男・・・出産は苦しそうだから		男・・・今の世界で男性の方が優遇されている事が多い。	
男・・・男の方が自分の思い通りに生きられる		女・・・男ほど生き方とやかよく言われなから	
男・・・男尊女卑の社会であるから	50代	女・・・仕事ばかりやりたくない	
男・・・家事や細かいことに気を使わなくてよい		女・・・女が無償の愛で生きられるから	
女・・・不可思議な実体験をしたい		女・・・平日自由な時間が持てるから	
		男・・・次は男の人生を経験したい	

# 明日人生最後の日になるとしたら 何をして過ごしますか？

男 性		女 性	
○ 彼女や友達と話す	10代	○ 家族と夕食、いろんな所に家族と回る	
○ 昔の友達や同級生に会う		○ 考えたくない	
○ 家族とのんびり過ごす		○ 無人島へ行く	
○ 恋人と過ごす	20代	○ 美味しいものを食べに行く	
○ 飛行機に乗る		○ 遊園地などで思い切り遊ぶ	
○ 音楽を聴く		○ お金を全て使って豪遊する	
○ 運動して過ごす	30代	○ 気になっていることを片付ける	
○ 人生を振り返り、別離の挨拶をする		○ 何か残せるものを探す	
○ 自宅でゆっくり過ごす		○ 残して置きたくないものの整理	
○ 身辺整理して、嫁さんとディナー	40代	○ 考えられない	
○ いつも通りの生活		○ 夫とおだやかに普通の生活	
○ ゆっくりする		○ 人生の残務整理をしたい	
○ 海か山へ行く	50代	○ お世話になった人に挨拶回り	
○ 仕事は休み、3食きっちり取りアルバムでも見て一生を振り返る		○ いろんな人に手紙やメールを送る	
○ 墓参り		○ 少しゆったりして過ごしたい	
○ あちこちに電話して葬式に来いという		○ 切ない思いの人に会いに行く	
○ 焼肉を腹一杯食べたい		○ 人と話がしたい。子どもと思う存分話したい	
○ 良い事だけノートに書き写し人生を閉じたい			



# 子どもが一人だけ授かるとしたら、 男女どちらを希望しますか？



## 男性

## 女性

男・・・キャッチボールなどをしたい	10代	女・・・同性の気持ちはわかるから
女・・・兄弟が男ばかりだったので・・・		男・・・成長の姿をみてみたい
女・・・可愛いから		男・・・男の子の気持ちを知りたい
男・・・女の子は溺愛しそうだから	20代	女・・・結婚しても親のそばにいてくれるから
男・・・一緒に運動できるから		男・・・育てやすそうだから
女・・・「お父さんのお嫁さんになりたい」と言われたいから		
男・・・一緒に運動できるから	30代	女・・・一緒に遊びたい
男・・・共通の話題ができそうだから		女・・・育てやすいし、話しやすいから
女・・・理由なく欲しい		
男・・・育てやすそうだから	40代	女・・・育てたことがないから
男・・・娘との遊び方を知らないから		
女・・・女の子の方がかわいいから		
男・・・男尊女卑の社会であるから	50代	女・・・当然
女・・・可愛いし華やか		女・・・話し相手になるから
女・・・娘に面倒をみてもらいたいから		女・・・男の子の子育ては大変な上に、お嫁さんに気を使うから
		男・・・親としての心配が少ない



# 生まれ変わったら、どんな人生を送りたいですか？

## 男性

## 女性

○ 友人、先輩を多くもち充実した日々	10代	○ 一つ秀でた才能をもちたい
○ 芸能人になって金持ちになり老後は海外		○ 今のような充実して楽しい人生
○ エリートキャリア		○ 自信を持てることがいくつもある人生
○ 今と同じ楽しい人生	20代	○ 今と同じ楽しい人生
○ ゆったりとした生活		○ 働かなくて良いゴージャスな人生
○ 波乱万丈の人生		○ 刺激の多い生活
○ 暖かい国でのんびり暮らしたい	30代	○ 今とよく似た納得できる人生
○ プロ野球選手になりたい		○ 経験したことがないことに挑戦
○ 女性にモテモテの人生		○ 今と違う人生、例：出産、子育て
○ オリンピック選手などスポーツに接する	40代	○ 平和な人生
○ ゴージャスな生活を送りたい		○ 今よりもう少し積極的な人生
○ 南の島でのんびり暮らしたい		○ 平凡な人生を懸命に生きたい
○ 静かな人生	50代	○ 海外を飛び回る暮らし
○ 芸能界に入りたい		○ 芸能人になっていろんな人生を演じたい
○ 貧しくても子沢山の家庭をもちたい		○ 全てを愛せる人を見つけない
○ 周りに左右されず信念を貫きたい		○ 戦争の無い平和な人生
○ 瀬戸内の小さな島で晴耕雨読の日々 著作業で生活		○ 芸術的なことに関わりたい
○ 社会に貢献できる仕事に就きたい		

も...

情報発信基地」が  
た「もしも...？」



# 2004 いこま 女と男 You&I フェスタ

テーマ「みんないきいき！男女共同参画社会」

2004年6月26日（土）

参加人数 287名

主催 生駒市・生駒市教育委員会

場所 生駒市コミュニティセンター 文化ホール

時間 13：30～16：00

～家族の絆が未来を豊かに～

愉快！痛快！理解！男女共同参画社会って何？

落語は三百五十年前、江戸時代にでき、当時は身分制度、男尊女卑等の思想がありましたが、落語の中では、侍も農民も男も女も差別することなく、同じ立場に立って笑いを作ってきました。落語そのものが人権のバリアフリー、いわゆる壁を取っ払っているのです。

人は笑っている時が一番心穏やかで豊かな時を過ごせます。よく笑った人・あまり笑わなかった人の三十年後をみると、よく笑った人は長生きしたという統計が出ています。

落語の中で「阿呆、馬鹿」とか登場しますが、これは人をさげすんだ言葉ではありません。「あんた大丈夫か」、「ご飯食べているか」等、昔は隣近所がどうしているか、よく分かったものですが、昨今は『情』というものがありません。



私たちが落語で習うのは『情』。それは穏やかな気持ちで笑ってもらえる、人間が持っている基本的な情であります。我々落語家は『情』をいかに皆様に楽しんでもらえるか修行し勉強するのです。落語は文字を持たなくても、例えば夫婦・親子の日常生活を面白おかしく話して『情』を伝えています。

人間の基本的な愛情表現は抱きしめることです。家庭の中が明るく、愉快であることが夫婦お互いの理解を深め児童虐待をもなくすのです。

夫婦の間で今「男らしさ、女らしさ」の考え方が問い直されています。私たちの生活と切り離せない育児・家事に夫婦で共に関わり、家計も夫婦で共に支え合おう。今回のテーマである「男女共同参画社会」の意味するところでもあります。

男女共同参画社会の基本理念の入口は夫婦のねざらいから始まります。お互いが機嫌よく阿呆なことを言って笑える家庭で生まれ、その中で育った子どもは情操豊かな子に育ちます。身近なところから次代の豊かな社会が育つのです。

（講演内容を一部編集して掲載）





**赤い**ドレスに身を包まれ、白い肌がとても印象的でした。中国琵琶を弾く指先の鮮やかさに目を奪われ、うっとりとして聴き惚れていた人も多かったのではないのでしょうか。日本の琴の音色に似たところもありましたが、時には津軽三味線、マンドリン、あるいは沖縄の三線をも思わせるものがありました。全部で7曲の演奏はあっという間の30分でした。聴きなれた「夜来香」から始まり、5曲目の「草原情歌」は内モンゴルの情景を会場いっぱいに広げてくれました。閻杰さん自作の曲「山河の風」は広い大地に居る自分、小さな草花や動物などを頭の中で描きながら聴いていた人もおられたことでしょう。アンコール曲「トルコ行進曲」は会場を明るく元気な気持ちにさせてくれました。拍手喝采の止まぬ中、琵琶の音色は静かに幕を閉じていきました。再び名演奏を聴けることを祈りつつ……。

## ご協力いただいたスタッフの皆様ありがとうございました。



手話ボランティアの方々



ご協力いただいたスタッフの皆様

生駒市地域婦人団体連絡協議会 / アサーション勉強会 / あゆみの会 / ネットワーク生駒  
楽々クッキングOBの会 / Q情報発信基地 / 女性問題に関する国内研修派遣者

# You&Iフェスタを振り返って

## Q情報発信基地

### 今回のフェスタは？

- F：会場はほぼ満席だったわね。  
I：今回の落語は老若男女を問わず人気のある出し物だったわね。  
K：染二さんは講演の時はダンディーなスーツ姿だったけれど、落語では鮮やかなブルーの着物、白の羽織りに着替えていらっしたわね。  
I：手話ボランティアの人は今年も長時間に渡ってがんばられていたわ。  
F：講演も落語もかなり早いテンポで進んでいたから、苦労されたでしょうね。  
K：司会の方も声が良く通って、聴きやすかったわ。説明もわかりやすかったし。  
K：市民スタッフの協力も毎回すごいわね。

### 染二さんの講演は？

- I：身近なエピソードをユーモアたっぷりに、話してくれて最後まで笑いがたえなかったわね。  
M：日頃「男女共同参画」ということばに、馴染まない人も楽しめたわけね。まさに、タイトルどおりの「愉快、痛快、理解」だったわね。

### 気になった点は？

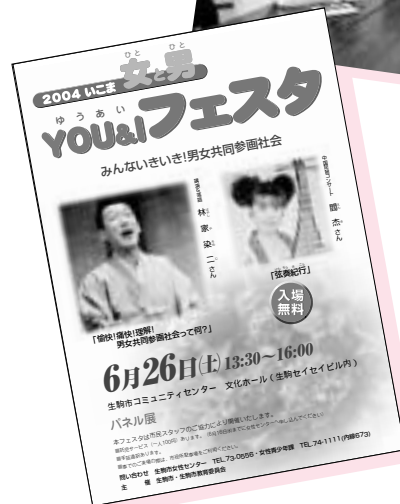
- M：若い人にもっと多く来てもらいたいよね。  
K：若い人の心をパッとつかめるパフォーマンスを、最初にもってくればいいのかね。  
F：どんなものが若い人を引き付けるのかしら？  
K：若い人たちの生活に溶け込んでいるメッセージソングの歌手を、ゲストに呼ぶとかどう？  
M：携帯コールが聞こえたりしていたわ。携帯に対する注意をもっと徹底して欲しいわね。  
I：パネル展示は素通りしていきの人が多かったわ。  
K：会場の入り口と、パネル展示場の位置関係を考え直す必要があるわね。  
I：こちらから声をかけて、展示室に入ってもらうケースが多かったもの。  
F：他にも、男女共同参画社会への取り組みの紹介や、今後へのきっかけづくりがもっとできれば良かったかもという声がスタッフからあったわね。

### 全体の構成としては？

- M：今回のフェスタは、男女共同参画というテーマを軸に、肩の力を抜いて楽しめる落語あり、思わずリズムを取りたくなる中国琵琶の演奏あり、とバラエティーに富んでいたわね。  
F：本当。そう思うわ。一言でいえばめりはりがきいていた、ということかな。

### 染二さんの落語は？

- M：大いに皆を笑わせていたのはもちろんだけど、衣装でも細かく気を使われていたのね。  
F：生の落語を聞いたのは久しぶりだった。TVで見ているのと違って、目の前のエネルギーに感動したわ。



### 「Q情報発信基地」とは

市主催の「情報発信講座」の修了生の会です。「勉強してためになった」で終わらず自分たちで情報誌を作ってみようと「Q」を立ち上げました。今回はフェスタへの参加だけでなく、その様子を紹介することも含め、「Vivid You&I」の編集に携わりました。



# 生駒市女性センターからのインフォメーション (2)

## 相談

女性が抱えている悩み(夫婦、家族、対人関係等)の相談に応じ、自分らしい選択、決定をしていけるよう支援しています。プライバシーは固く守ります。相談はすべて無料です。

### 電話相談

開館日の午前9時～午後4時まで(正午～午後零時45分を除く)の間にお電話をおかけください。

### 面接相談

電話で予約の上、センターへお越しください。

### フェミニストカウンセラーによる面接相談

毎月第2・第4水曜日 午後1時～4時(要予約)

\*祝日の場合は翌日に変更

### 女性のための法律相談 今年の6月から始めました。

女性の相談員(弁護士)による面接相談です。ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカーなど女性への暴力に関する悩みなどの相談にお答えします。

毎月第3水曜日 午後1時～4時

\*祝日の場合は翌日に変更

相談日の一週間前(水曜日の午前8時30分)から電話で予約を受け付けます。(先着順)



郵便はがき

630-0288

50円切手を貼って  
投函して下さい。

生駒市東新町8-38

生駒市教育委員会女性青少年課

女性情報誌

びびっど ゆうあい  
『Vivid You&I』係行

ふりがな

お名前 年齢 歳

〒

ご住所

TEL ( )

匿名希望 有(ペンネーム) ・ 無

この情報誌をどちらで入手されましたか。

## 編集後記

世の中まだまだ男女差はありますが、男・女しかこの世に存在しません。差別することなくお互いが良い関係で生きていけることの大切さを感じていただけただけ嬉しいです。 【岩田】

今回単発的な関わり方で協力させてもらえて、メンバーの方々にはとても‘感謝’です。また、豆知識の引き出しを増やしたいとも思いました。 【加藤】

アンケート結果を効果的に記事にすることが、いかに難しいかを痛感しました。それだけに、なんとかまとめあげた時の充実感は大きかったです。家族とのコミュニケーションにも役立ちました。 【福田】

“Q”のメンバーたちと一緒にVividの編集に携わり、楽しく終えることが出来ました。次号もより多くのことを伝えていけたらと思っています。 【森】

■生駒市女性情報誌・第15号

■発行＝生駒市・生駒市教育委員会

■編集＝生駒市教育委員会事務局女性青少年課

(〒630-0288 生駒市東新町8-38 ☎0743-74-1111内線673)  
e-mail (jyosei@city.ikoma.lg.jp)

■発行日＝平成16年(2004年)10月

(この情報誌は再生紙を使用しています)